



4・5月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨 衛
印刷所
(有)堀口印刷
1部 15円
(購読料は年会費に含まれています)

平成三十年度 第一回定時理事会の開催

平成三十年度公益財団法人茨城県消防協会第一回定時理事会が五月九日(水)に茨城県立健康プラザにおいて開催されました。

理事会はまず、会議定足数の確認(理事数三十名のところ出席者二十四名で、半数を超え会議が成立)が行われ、その後、葉梨会長から主催者の挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・県消防安全課長 宗像 達夫 様
 - ・県立消防学校長 飛田 剛利 様
- 続いて議事は、葉梨会長が議長となり、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

【第一回定時理事会会議案】

- 第一号議案 平成二十九年度事業報告
 - 第二号議案 平成二十九年度会計決算
 - 第三号議案 評議員会の招集
- なお、定時理事会終了後に、平成二十九年途中で退団となられた消防団長に對

し、感謝状が表示された記念楯が贈呈されました。
表彰された前消防団長の皆様方には、長い間本当にご苦勞様でした。改めて感謝の意を表します。



退職消防団長へ感謝状贈呈

平成三十年

春の叙勲・褒章

平成三十年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。本県からは、春の叙勲が十三名、第三十回危険業務従事者叙勲が十七名、藍綬褒章が三名、合計三十三名の皆様が受章の栄に浴されました。

勲記・勲章は、五月八日(火)、県庁において大井川知事から伝達されました。国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が五月十四日「ニッショーホール」、危険業務従事者叙勲が五月九日霞ヶ関の「合同庁舎第三号館」、春の褒章が五月十五日「スクワール麹町」においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拜謁も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

※()は発令日現在の年齢

《春の叙勲》

瑞宝小綬章

○中山 一(七十)

元 西南広域 消防正監
消防歴 四十一年六月
下妻市在住

瑞宝双光章

○倉持 政博(七十五)

元 つくば市消防団 団長
消防歴 四十六年
つくば市在住

瑞宝単光章

○岡田 忠(六十九)

元 つくば市消防団 副団長
消防歴 三十九年
つくば市在住

○仲山 松男(七十)

元 稲敷広域 消防正監
消防歴 三十七年九月
龍ヶ崎市在住

○山田 治(六十八)

元 鹿嶋市消防団 団長
消防歴 四十一年
鹿嶋市在住

○齋藤 芳紀(七十二)

元 守谷市消防団 団長
消防歴 五十一年二月
守谷市在住

○岡野 陽一(六十五)

元 稲敷市消防団 副団長
消防歴 三十九年
稲敷市在住

- 小島 宣夫(七十三)
元 筑西市消防団 副団長
消防歴 四十五年
筑西市在住
- 栗原 修(六十八)
元 銚田市消防団 副団長
消防歴 三十四年六月
銚田市在住
- 長洲 良男(六十八)
元 茨城町消防団 団長
消防歴 三十六年
茨城町在住
- 根本 成章(八十四)
元 日立市消防団 分団長
消防歴 三十七年
日立市在住



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

- 栗野 眞利(六十五)
元 筑西広域 消防監
消防歴 四十二年
下妻市在住
- 太田 益嗣(六十五)
元 鹿島地方 消防監
消防歴 四十二年
神栖市在住
- 岡里 寛士(六十八)
元 鹿行広域 消防司令長
消防歴 四十年
行方市在住
- 鯉淵 日出雄(七十)
元 ひたちなか市 消防司令長
消防歴 四十一年十一月
ひたちなか市在住

第三十回
危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章

- 羽鳥 昭一(六十八)
元 八千代町消防団 副団長
消防歴 三十四年十月
八千代町在住
- 水越 政男(七十一)
元 筑西市消防団 副団長
消防歴 三十九年五月
筑西市在住



危険業務従事者叙勲伝達式(合同庁舎第二号館)

- 澤田 清(六十五)
元 北茨城市 消防監
消防歴 四十一年
北茨城市在住
- 高橋 三成(六十五)
元 水戸市 消防監
消防歴 四十二年
水戸市在住
- 根本 榮一(六十五)
元 那珂市 消防監
消防歴 三十七年五月
那珂市在住
- 羽田 忠夫(六十五)
元 取手市 消防監
消防歴 四十二年
つくばみらい市在住

- 廣瀬 一勇(六十五)
元 常総広域 消防司令長
消防歴 四十二年
常総市在住
- 松本 和男(六十五)
元 稲敷広域 消防監
消防歴 四十二年
龍ヶ崎市在住
- 室町 栄一(六十八)
元 つくば市 消防監
消防歴 三十六年
つくば市在住
- 本橋 登志雄(六十五)
元 取手市 消防司令長
消防歴 四十二年
龍ヶ崎市在住
- 吉原 好男(六十七)
元 西南広域 消防監
消防歴 四十一年九月
下妻市在住
- 渡邊 克之(六十五)
元 石岡市 消防司令長
消防歴 四十二年
石岡市在住
- 倉持 孝行(六十七)
元 土浦市 消防司令長
消防歴 四十二年
土浦市在住
- 鈴木 薫(六十八)
元 高萩市 消防司令
消防歴 四十年
高萩市在住

瑞宝单光章

《藍綬褒章》

○寺田 富次郎(六十七)
現 常総市消防団 団長
消防歴 四十一年四月
常総市在住

○羽野島 幸雄(六十四)
現 桜川市消防団 団長
消防歴 三十三年一月
桜川市在住

○諸岡 周示(六十二)
現 河内町消防団 団長
消防歴 三十四年一月
河内町在住



藍綬褒章伝達式(スクワール麹町)

県立消防学校 初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第一期五期入校式が、四月十一日(水)午前十時から県立消防学校において、県内二



入校生と学校職員

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。



葉梨会長祝辞

十三消防本部から総勢二百一十名の学生を迎え挙行されました。
式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(飛田中学校長)、知事告辞(宗像消防安全課長)、続いて県消防協会長、消防長会(根本会長)の来賓祝辞がありました。

日本消防協会主催

消防団幹部候補中央特別研修

日本消防協会主催による第十七回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。

○男性消防団員の部

平成三十年一月三十一日(二月一日) 二泊三日

(参加者)

つくば市消防団 分団長 佐野 広和

○女性消防団員の部

平成三十年二月十四日(十六日) 二泊三日

(参加者)

利根町消防団 分団長 地脇 倫代

牛久市消防団 部長 橋爪 徳子

阿見町消防団 班長 中根 朋子

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の佐野広和さんと女性消防団員の部の地脇倫代さんからの寄稿文をご紹介します。

「第十七回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して

つくば市消防団 分団長 佐野 広和



つくば市消防団 分団長 佐野 広和

平成三十年一月三十一日から二月二日までの三日間、日本消防協会主催の「第十七回消防団幹部候補中央特別研修」が東京都虎ノ門日本消防協会において開催されました。

全国から男性消防団員の部として百四十名が参加するこの中央特別研修への参加は、入団十五年とまだ経験が浅い私には不安と緊張がありました。参加する機

会を頂いたからにはその責任を自覚し、研修成果があるよう心掛けて三日間学ばせて頂きましたのでここに報告させていただきます。

はじめに、総代・班長への辞令交付が行われ、日本消防協会秋本会長から「消防団員・消防職員の出勤及び出向状況」や消防を取り巻く変化として「近年の多様化する災害」について講話がありました。自然災害の多発化、大規模化、激甚化する近年の災害において消防に求められる役割の変化と消防活動の拡大多様化を再認識することができました。

私は看護師として日本DMAT隊員(厚生労働省災害派遣医療チーム)をしています。秋本会長の講話の中でも特に、災害時の避難生活の維持・避難生活者の健康保持・被害情報等の発信なども消防団員に求められるという内容について、各関係機関との訓練にもっと消防団も参加し社会変化に対応した消防団の活動が必要だと考えました。

また、研修期間中に「災害の特徴と防災」「危機管理」「都市防災」について講師の先生から実際の活動事例を交えてご講義頂きました。危機管理演習では、状況予測型図上訓練を行いました。災害の想定付与から時間経過とともに①状況の予測、②自分の対応、③悩み、課題を自分が消防団幹部としてどう活動すればいいのか、また、その活動での課題を見出すことが出来ました。図上訓練の成果として自分の知識・能力と災害時活動を客観的に評価すること、役割行動の流れの把握と整理、課題の把握と解決策について知識を深めることができたので今後の活動に活かしていきたいと思いました。

三日間を通して受講生が十班に分かれ、それぞれ各テーマに沿って課題討議をしました。私のグループでは「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策」について討議し、会社勤めをしながらの消防団活

動の問題点を明確にし、解決案をまとめました。

討議する中で各市町村地域での対策・取り組みは違うが、消防団員として地域を守るという責任感を育成する・それができる方法と役割を持つことが重要であるという目標は同じでした。ただ、会社・組織など企業に属している中で、消防団活動に理解がある会社・組織・企業はまだまだ少ないという意見が多くありました。その原因の一つとして勤務時間内に消防団活動(火災など)へ参加されてしまうと業務の停滞・損失への補填が企業に対して行われていない、そもそも消防団活動そのものに同僚や上司からの理解がないという内容でした。消防団員の社会的地位の向上と活動に対する理解が今後大きな課題であると考えます。

最後に、今回の研修参加で得た知識を「客観性・地域性・多様性」を考慮して今後の消防団活動に活かしていきたいと思えます。

「第十七回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して



利根町消防団
分団長 地脇 倫代

平成三十年二月十四日から三日間、第十七回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。

全国から九十三名が参加して開催された研修は、日本消防協会の秋本会長の講話から始まり、内容は「多様化する災害の変化」「社会全体の変化」に対応した活動が求められていること、それぞれの災害が想定外にならないよう活動方法を考えて訓練を重ねることが必要であり、それには地域防災力の充実強化

が大切であること、男女が協力していく上で「力の差」は男女の差ではなく個人の差であって各々持っている力があるのだから共に協力していけばよい等のお話がありました。地域防災力の重要性をこれまで以上に強く認識いたしました。

その後、課題討議を行いました。五つのテーマがあり、各班グループに分かれ、私の班は「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」でした。全国の女性消防団員においては所属形態・活動内容・地域性も違うことから、まずは自己紹介を兼ねた意見交換を行い併せて三日間の受講内容も参考にまとめることにしました。

たくさん意見が出され、活動内容や抱えている問題点を知ることでもでき、それぞれが刺激を受け、今後の活動の励みとなりました。

研修期間中は毎日、講義と課題討議が行われました。講義では講師の方々から過去の災害の状況や団員の活動事例、地域防災力の充実強化、多様化する災害への対策、団員確保など様々な内容について受講することができました。

印象深かった内容は、消防団は常備消防と自主防災組織の連携であり地域防災の中核的存在であるということです。「消防団は地域防災体制の役割の交通整理をして欲しい」という言葉に感銘を受けました。また、役に立たない防災対策はなく、様々なことを想定してやれることをやる範囲で一つでも多くやっておく。小さなことの積み重ねや訓練が大切であるということです。私たちの班の課題発表においても受講した内容から刺激を受けて、日々の活動を通して地域の方々とコミュニケーションを深め、各団体や組織と情報を共有し、ネットワークを築いていくことが出来たら地域防災力の向上に繋げることができるとは思いません。

二日目は防災体験学習施設「そなエリ

「東京」視察がありました。館内での体験や展示物の見学の他に、担当ガイドが浦安在住の方で東日本大震災時の液状化で長期にわたって下水道が使用できず大変であったことなどの被災体験や防災対策についても具体的に聞くことができ参考になりました。

最終日にはすべての班が課題討議について発表しましたが、いずれの内容も興味深いものでした。この研修で得たことを活動に活かせるように誓い合っており、散会いたしました。

このような貴重な研修に参加させていただき感謝申し上げます。

オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

茨城県マスコット
ハッスル鎮門

ハッスル黄門ストラップ取扱店

水戸スポーツ株式会社

水戸市梅塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

■県防災情報ネットワークシステム
■高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気株式会社

茨城支店

〒310-0011 水戸市三の丸1-1-25(水戸駅前ビル)
TEL 029-226-1717 FAX 029-226-1685

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店
有限会社 鈴機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付207番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540

土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型 消防 ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV110Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360

《編集後記》 新年度から2ヶ月が過ぎ、協会の各事業も本格的に始まります。皆様方のご協力をよろしくお願い致します。
発行にあたり、消防団幹部候補中央特別研修について、ご寄稿いただきましたつくば市消防団 佐野様、利根町消防団 地脇様にお礼申し上げます。(こ)